

初期教材用 教案 (促音編)

【 センシティ土曜にほんご学級 】

【 教案・カード・授業時間(15分～30分程度)は各教室の状況に合わせて実施してください。】

学習目標：促音が正しく、発話・表記できる。

教材 (カード)	活 動 内 容	留 意 点
きって きっぷ がっこう せっけん じっけん ねっこ サッカー ペットボトル コップ ティッシュ	T：「これはなに？」 カードです。 これはなんですか？ S：きって T：はい、そうです。 きって。どうぞ。 S：きって T：はい、そうです。 これはなんですか？ S：きっぷ (順次聞いていく。) T：字を書きます。 △△さん、どうぞ。 紙に書きます。 T：△△さん、読んでください。 S：□□□ T：いいですか。 S S：はい、いいです。 T：字のカードを貼ります。 みなさんは、絵のカードを貼ります。 (全部貼り終えたところで) T：これでいいですか。 S S：いいです。 T：では、みんなで読みます。 T：今日の勉強はこれで終わります。	「これはなに？」を板書し、発話する。 カードの束を示し、「カード」の語を導入。 ホワイトボードに1枚ずつ絵カードを貼る。 学習者に発話を促す。丁寧に発音の指導をする。 (拍や○○○などを使って指導) 絵カードの隣に字カードを貼る。キューで一斉に発話させる。 書く前に、字カードをはずす。 指名された学習者は前に出て書く。他の学習者は、ワークシートに書く。 発音と表記を確認する。正確な発音ができるように練習させる。全員にも発話させる。表記にまちがいがあった場合は、訂正する。 (正しい字カードを貼る) 字カードをすべて貼る。 学習者に絵カードを貼らせる。 アトランダムに絵を指してコーラス・個人で発話させる。

〈カードを使ったゲーム〉

- ①絵カードだけを場に置く。先生、または生徒の一人が字カードを読み上げ、場のカードを取る。
- ②字カードだけを場に置く。先生が黙って絵カードを生徒に示す。生徒は場の字カードを正しく発話してから取る。
- ③神経衰弱ゲーム 絵カード、字カードともに裏にして場に置く。字カードをめくって2枚を合わせる。